

経営比較分析表／団体全体（令和元年度決算）

岐阜県

【事業概要】

業務名 法適用	業種名 工業用水道事業	現在配水能力(合計)(m ³ /日) 9,760	類似団体区分 極小規模	施設数 1	1日平均配水量(m ³) 2,811
資金不足比率(%) -	自己資本構成比率(%) 62.2	給水先事業所数 12	契約水量(m ³ /日) 4,080	管理者の情報 非設置	

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

分析欄

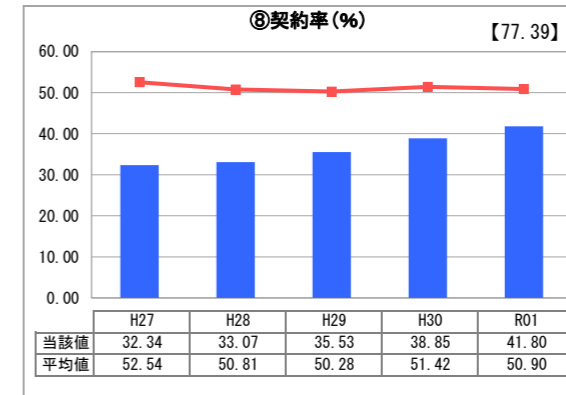
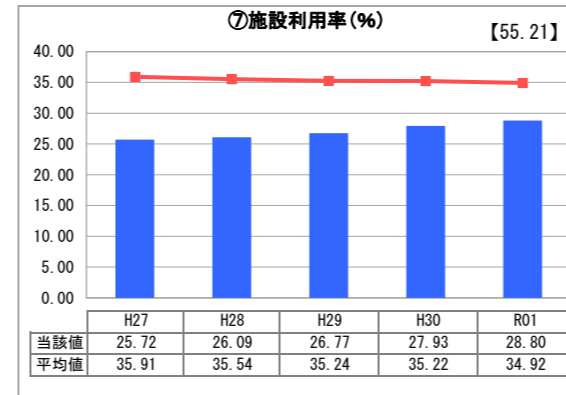
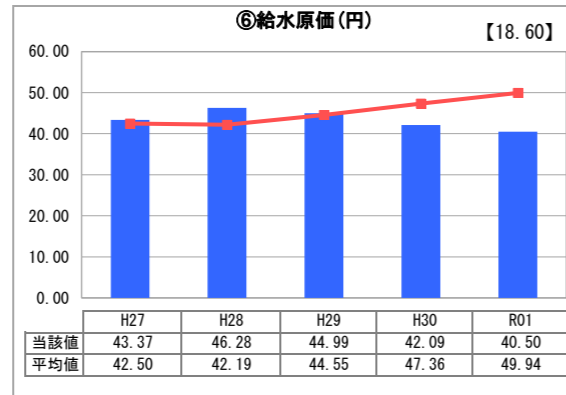
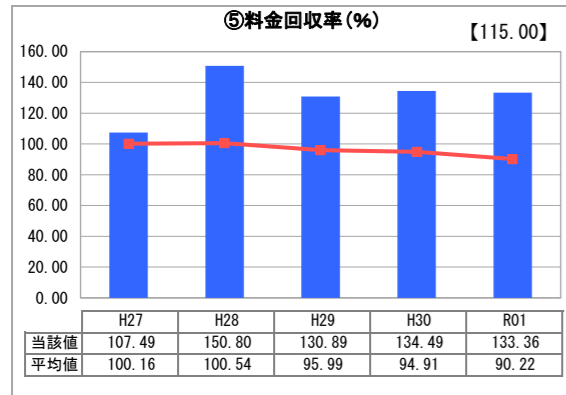
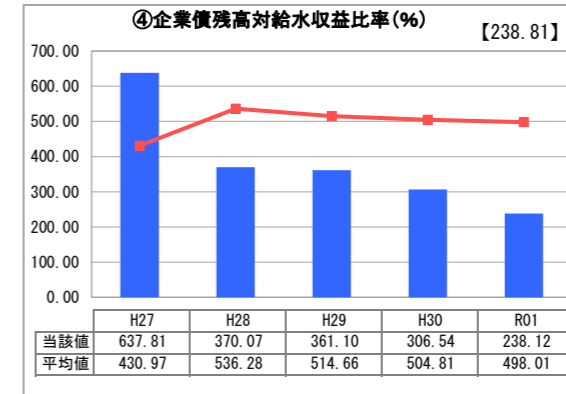
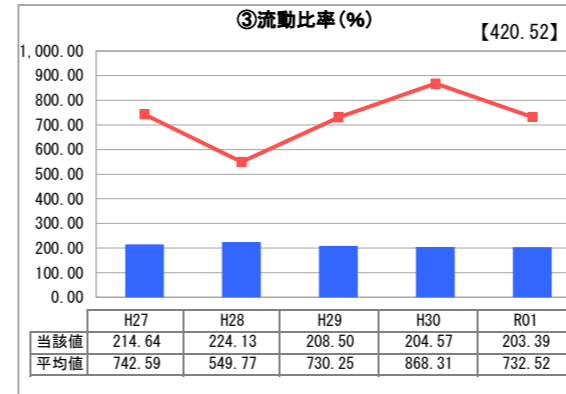
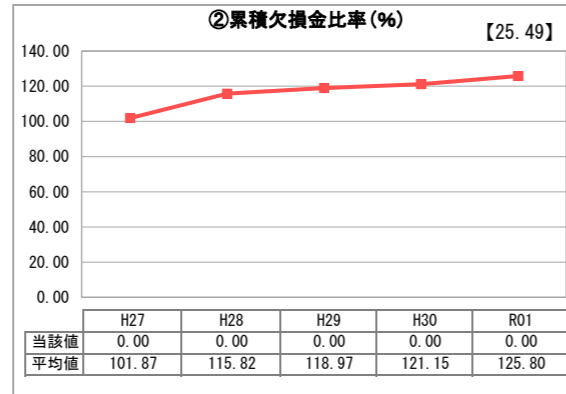
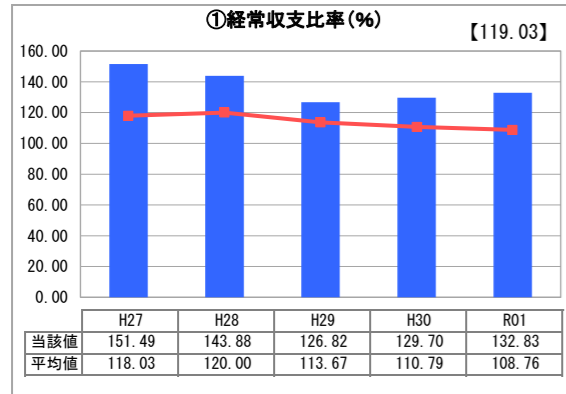
1. 経営の健全性・効率性について

- 経常収支比率
100%を超えており、事業開始以降、黒字を確保しています。
- 累積欠損金比率
累積欠損は発生していません。
- 流動比率
100%を超えており、短期的な債務に対する支払能力は問題ありません。
- 企業債残高対給水収益比率
平均値と比較して5割程度となっています。自己財源による施設整備・更新を図ることとします。
- 料金回収率
100%を超えており、給水に係る費用が給水収益で賄えています。
- 給水原価
平均値と比較して低い状況となっています。引き続き、維持管理費の削減等に努めていきます。
- 施設利用率
年々上がっていますが、平均値と比較して低い状況となっています。
- 契約率
年々上がっていますが、平均値と比較して低い状況となっています。

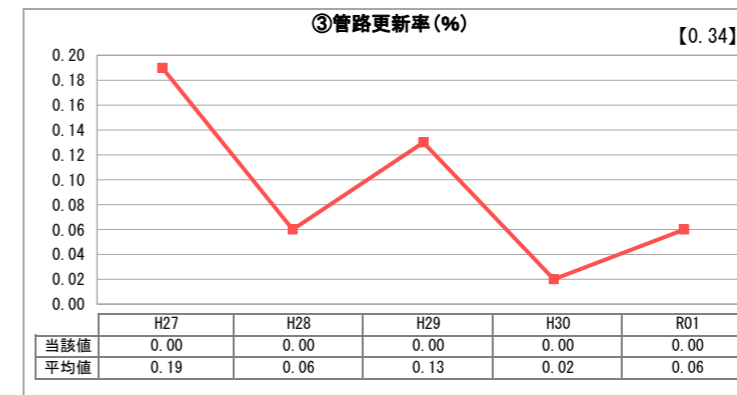
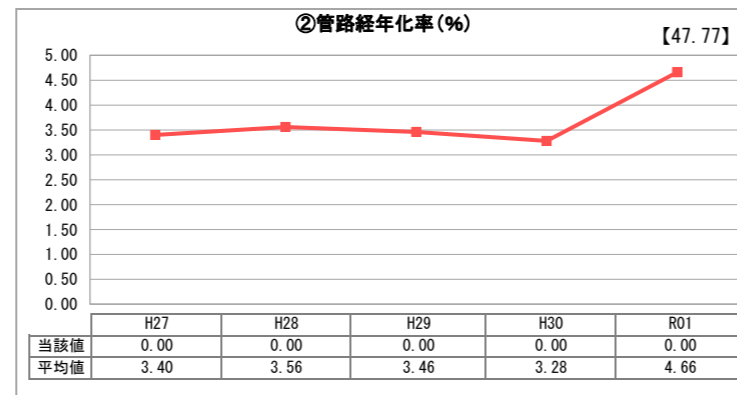
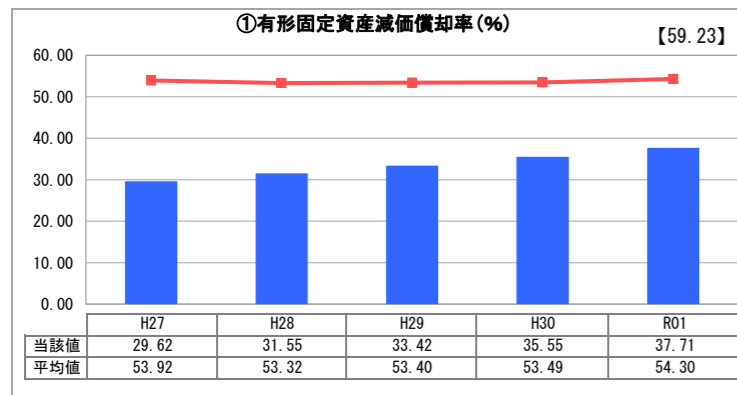
2. 老朽化の状況について

平成10年の供給開始から22年目であることから、老朽施設はありません。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



全体総括

可茂工業用水道事業は、供給開始から22年目であることから、当面は施設の老朽化に伴う大規模更新の予定がなく、また現状で黒字経営であり、引き続き安定的な経営ができる見通しとなっています。

将来にわたって安定的な事業継続を図るため「岐阜県可茂工業用水道事業経営戦略」を策定（令和2年3月公表）したところであり、以下の取組みを推進します。

- ・ 契約水量の拡大
- ・ 経営基盤の強化
- ・ 水需要に応じた施設の段階的整備